

オーストリア初の GDPR 罰金は映像監視

チャールズ・ロレット 著

<https://ipvm.com/reports/austria-gdpr-fine>



The case is nevertheless an important example of the heightened risk faced by end users in the GDPR era, particularly since it was the GDPR-related fine that was by far the highest.

In this note, we examine:

警察が公共の場を撮影している企業の監視カメラを見た場合、EU の企業は懸念すべきだろうか？これがオーストリア初の GDPR による罰金であり、監視カメラで公共の場を撮影するため賭博場に課されたものだ。

この訴訟では、合計 6,000 ドル近くの罰金が科せられた。そのうちの幾つは、GDPR 以外の違反によるものだった。それは上訴中であり最終的なものではない。それにもかかわらず、この事件は GDPR 関連の罰金が最高額だったことから、GDPR 時代にエンドユーザが直面するリスクの高まりに関する重要な例となる。

本稿では下記の項目を精査している。

- 彼らがどうやって捕まったのか
- 違反の疑い
- GDPR と GDPR 以外の違反
- 罰金の計算方法
- GDPR 罰金額が最高だった理由
- オーストリアの映像監視罰金の頻度
- 攻撃のタイミングと重大さ
- より広い意味